

第495回 IBC番組審議会

1. 開催 日時 平成17年1月27日(木) 午前11時～

2. 開催 場所 IBC放送会館 大会議室

3. 委員の出席 委員数 14名

出席委員数 11名

出席委員の氏名

委員長 石川 桂司

委員 阿部 价男 熊谷志衣子 小苅米葉子

小松 務 坂田 裕一 佐藤潤次郎

中原 志郎 宮澤 徳雄 山崎 文子

吉沢 正則

欠席委員の氏名 藤原 正紀 米谷 春夫 矢佐 俊幸

会社側出席者

小西 隆昭 代表取締役社長

阿部 正樹 代表取締役専務

佐藤 敏行 常務取締役

川島 敬司 常務取締役編成局長

井上 隆志 取締役技術局長

柴田 継家 報道制作局長

事務局

金谷 保彦 番組審議会事務局長

小笠原 勉 番組審議会事務局次長

4. 議題 『年末年始のテレビ・ラジオ番組』について

5 . 議事の概要

< 委員の主な発言 >

- ・「ニュースエコー年末SP」は、この1年、岩手で何があったか振り返るのにコンパクトにまとまっていて年末の番組に相応しいと思った。反面テーマの掘り下げという意味では、ダイジェスト版の宿命かな、とも思った。
- ・「いわてホットライン」は、お正月向けなので気楽に見られた。現場の中継とスタジオ、お正月の風景、バラエティの要素があり、どちらかと言えばスタジオのバラエティ要素が強かった。個人的には、中継現場の情報がもっとあった方が良かった。
- ・「遠野市長に聞く」は、こういう時でなければ見られないと思って見た。(市長は)企業マインド、民間マインドの発想の方だと感じた。月曜日の朝7時半から情報共有のミーティングをやるとか、ビジョンを3点程紹介していたが、具体的でわかりやすかった。
- ・今年は、お笑い・バラエティの人たちが多くて、どの局を回しても同じような顔ぶれで特徴がなかった。正月は家族でスポーツ番組を見るのが多く、「ニューイヤー駅伝」などは、作り物にはない、人が極限に挑む姿につい応援して見てしまう。
- ・細木数子さんの番組が高視聴率だと聞いているが、私たちは誰かにきちんとしつけて欲しいという心がどこかにあるのではないかと。街にたむろしている若い人たちも本当はそう思っているのではないかと。
- ・「夜回り先生～若者たちを救い続けた熱血教師13年の闘い」は、大変重い番組でしたが、薬物の恐さなどを教えるためには、中学生や高校生に見せてもいいという気がした。
- ・正月は楽しませるというコンセプトから言うと、結構楽しかった。たっぷり映画が見られたからで、「リング」とか洋画もありましたが、「壬生義士伝」が良かった。さすがアカデミー賞3部門を取っただけあり、吉村貫一郎の義に生きる様に改めて感動した。
- ・「東北みちのく鍋紀行」は、冬場の鍋の恋しい時に東北の代表的な鍋物を紹介していた。大晦日の放送だったので、これから年越しソバを食べて、雑煮だ、おせちだと続く時期で、もう少し前か、正月料理に飽きた頃の方がタイミングが良かったのではないかと。
- ・韓国ドラマについて以前、何でいいのか解らないと言いましたが、見始めると惹きつけられるは、何かが違うのだと思います。作り方というか感性が。普通の油絵や日本画と違う韓国画というか、脳のちょっと違う所を刺激されるから面白いのだと思いました。

- ・ラジオの「命の詩～沙織・音なき世界からのメッセージ～」は、評判どおりのいい番組だった。ラジオでこれほどいい番組ができるのは、前から言っているように仕込みの時間が長いんですね。何年も追いかけて集大成して作っていくところで感動を呼ぶのかと思った。

<社側>

- ・「夜回り先生」についてですが、確かに高視聴率とは言えません。こうした番組を県内の中学生、高校生に見せて欲しいとのことですが、地元の教育委員会などから強い要望があり、著作権の問題などについてキー局と交渉した上で、成立すれば可能であると思います。機会があったら教育委員会の方とも話してみたいと思います。
- ・IBCも来年の秋を目指してデジタル化します。ハイビジョンをどう番組に生かしていくか検討に入っています。「ニュースエコー」「IBC特集」など自社番組をハイビジョンでどうやっていくか。また、ハイビジョンで生かされるものにスポーツ中継があると思います。高画質でもあるし、高音質になるので例えばラグビーなどの中継もハイビジョンで放送できればと思っています。
- ・「命の詩」は、番組を聴けない耳の不自由な人たちの団体から、文字に起して伝えたいという要請があり了承しています。同じ障害を持った人たちが勇気付けられることも含めて伝えたいということでした。
- ・IBCのラジオ・テレビの番組で、どうローカル色を出していくか、デジタル化を迎えるにあたって、ソフトというか作る側がこれまで以上に、ローカル色を打ち出した番組を作っていかなければ、と考えています。(前回の番組審議会でアナウンサーの扮装の是非が問われましたが)「いわてホットライン」はお正月番組ですから、扮装するとか、被り物などは許される範囲では良いと思いつつ、節度は意識していかなければならないと思います。